

2024年度 第2四半期(中間期) 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	有機EL材料(輸送材料、発光材料、表面保護材料)、バイオ材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	先端材料	カラーフィルター用染料、近赤外吸収材料、有機太陽電池材料
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬・農業資材	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2023年度	2024年度	前年同期比
売 上 高	20,451	26,607	+ 6,156
営 業 利 益	1,245	4,354	+ 3,109
経 常 利 益	1,814	4,413	+ 2,598
親会社株主に帰属する 当期純利益	909	2,549	+ 1,639

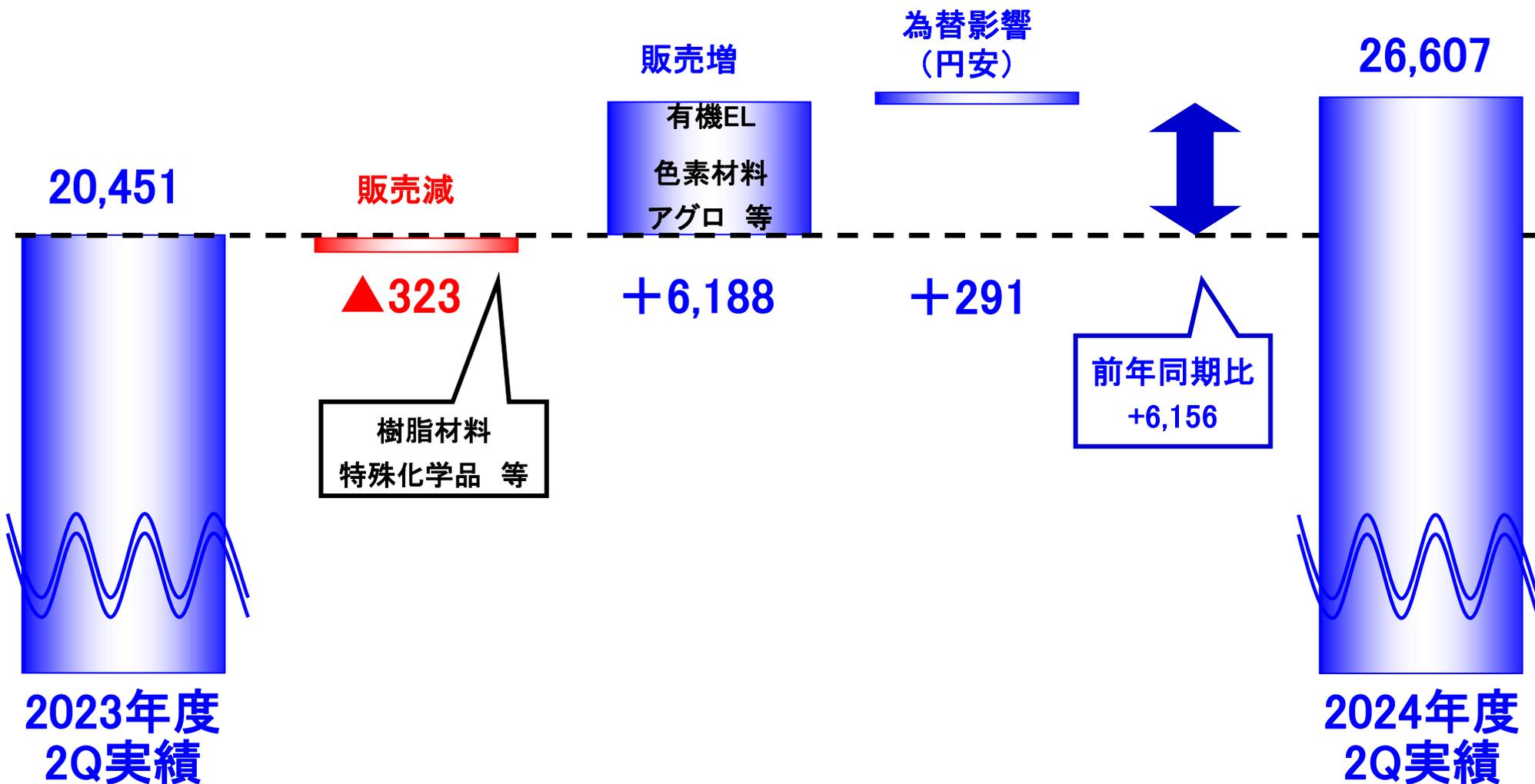
為替レート

\$=142.61円
W=0.1080円

\$=152.50円
W=0.1120円

\$=ドル
W=韓国ウォン

(単位:百万円)



- ・ **売上高**は、特に機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が拡大したことにより、6,156百万円の**増収**
- ・ **営業利益**は、主に有機EL材料の販売拡大により、3,109百万円の**増益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の増加により、2,598百万円の**増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、**経常利益**の増加により、1,639百万円の**増益**

(単位:億円)

科目	2024年 3月末	2024年 9月末	増 減
(流動資産)	386	388	+1
現預金	129	137	+7
売上債権	122	104	▲17
棚卸資産	126	135	+8
その他	8	11	+3
(固定資産)	424	437	+13
有形・無形 固定資産	292	308	+16
投資有価証券	108	103	▲5
その他	23	25	+2
合計	811	826	+15

科目	2024年 3月末	2024年 9月末	増 減
(負債)	237	227	▲9
仕入債務	51	45	▲5
有利子負債	93	89	▲3
その他	91	92	+0
(純資産)	574	599	+24
資本金	111	111	-
資本剰余金	79	79	-
利益剰余金	206	229	+22
その他	176	178	+2
合計	811	826	+15

第2四半期累計

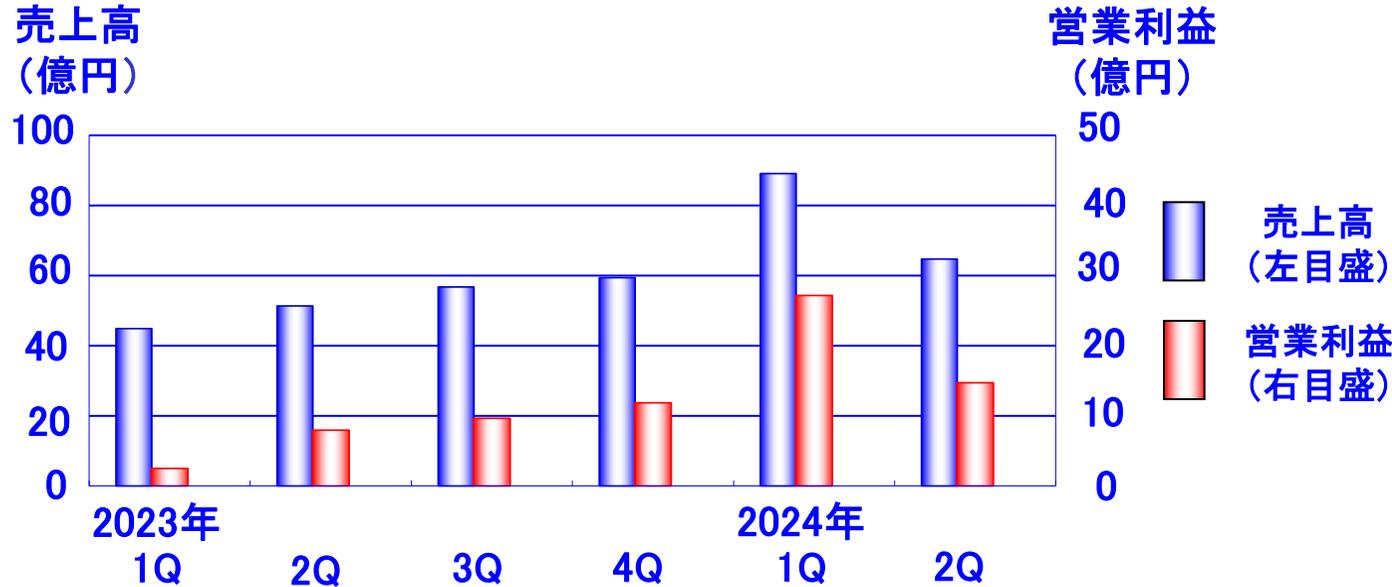
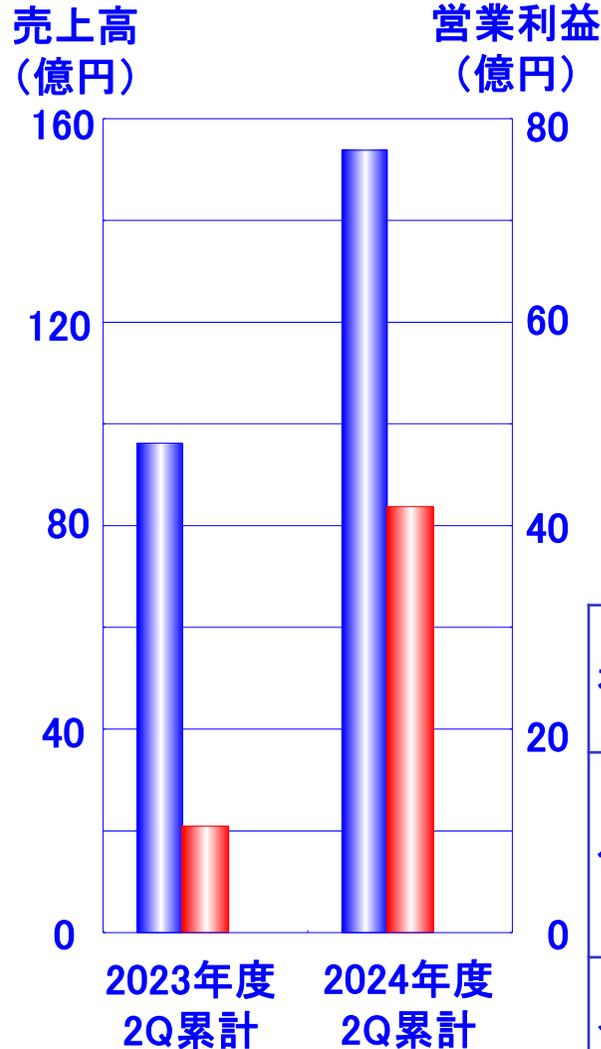
単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2023年度	2024年度	前年同期比
機能性色素	9,622	15,381	+ 5,759
機能性樹脂	4,086	4,244	+ 157
基礎化学品	3,884	3,824	▲ 60
アグロサイエンス	1,999	2,180	+ 181
物流関連	783	894	+ 111
その他	75	82	+ 6
合計	20,451	26,607	+ 6,156

第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

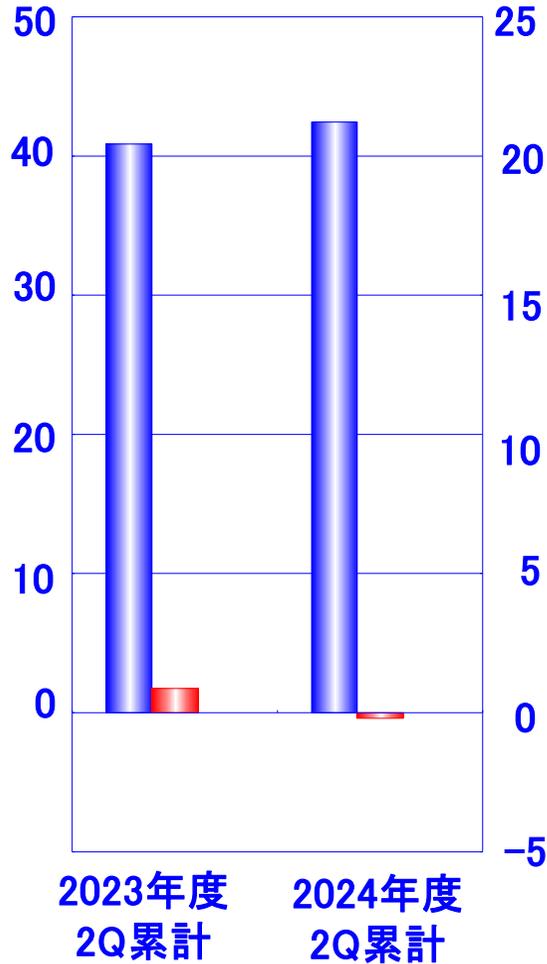
セグメント	2023年度	2024年度	前年同期比
機能性色素	1,046	4,188	+ 3,141
機能性樹脂	87	▲ 20	▲ 107
基礎化学品	▲ 57	▲ 3	+ 54
アグロサイエンス	61	21	▲ 40
物流関連	104	173	+ 68
その他	3	▲ 3	▲ 7
合計	1,245	4,354	+ 3,109



有機EL材料	・スマートフォン向けに加えタブレット端末向けの需要が伸長し大幅な増収	↗
色素材料	・天然色素は、食品業界での需要減少を受けて減収となったが、一方でアルミ着色用染料の需要がスマートフォンやその他汎用品向けを中心に大幅に増加し、事業全体としては大幅な増収	↗
イメージング材料	・プリンター向け材料の需要が海外を中心に回復し、前年同期比で大幅な増収	↗

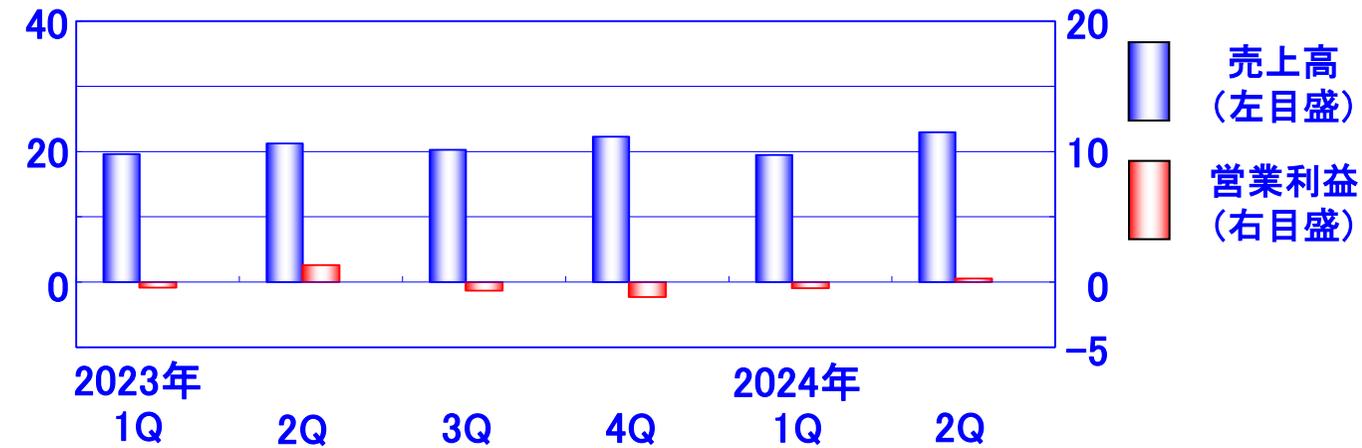
売上高
(億円)

営業利益
(億円)

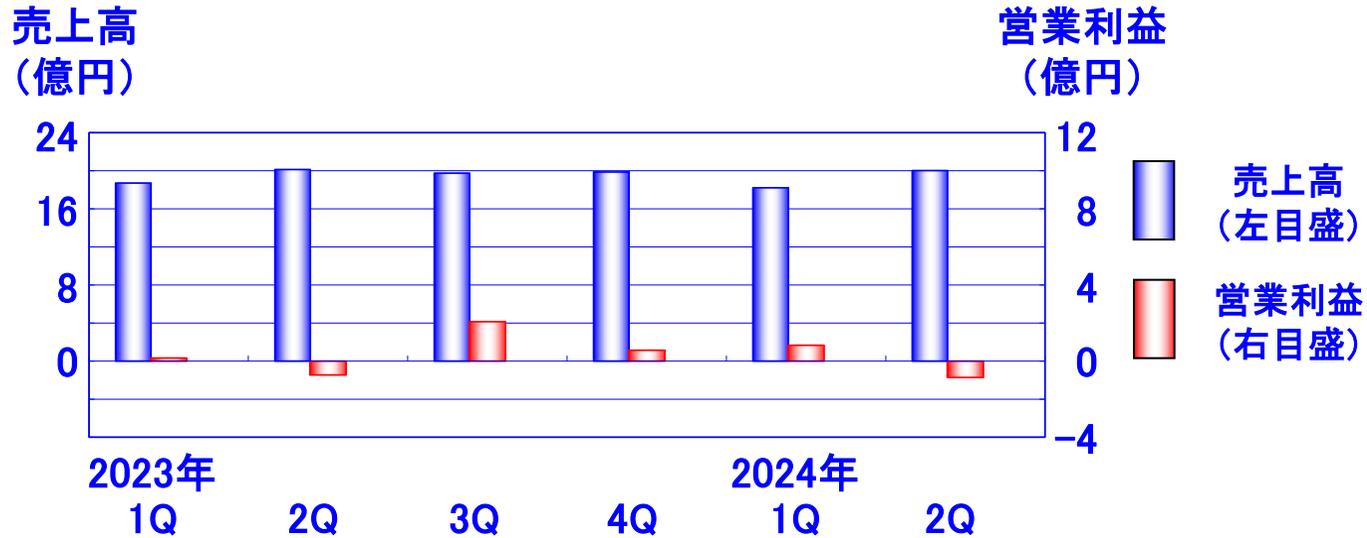
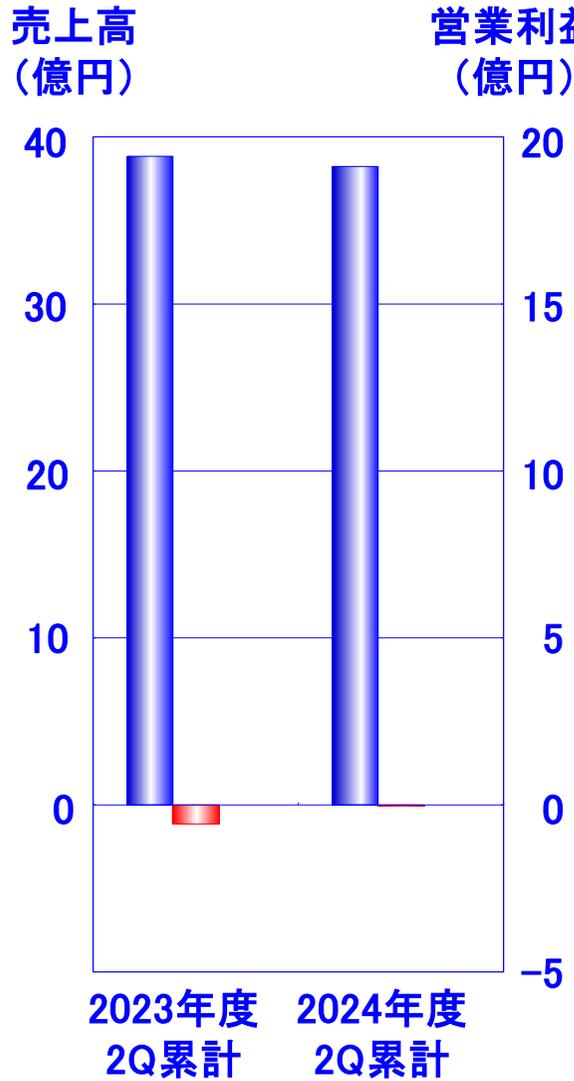


売上高
(億円)

営業利益
(億円)



樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> 一部販売増となった製品があるものの、ウレタン材料の市況低迷の影響が続いており、大幅な減収 	
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> 剥離材向け及び医薬向けの需要が海外を中心に回復し、前年同期並み 	
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> 大型商業施設の駐車場等におけるウレタン防水工事の受注により、大幅な増収 	

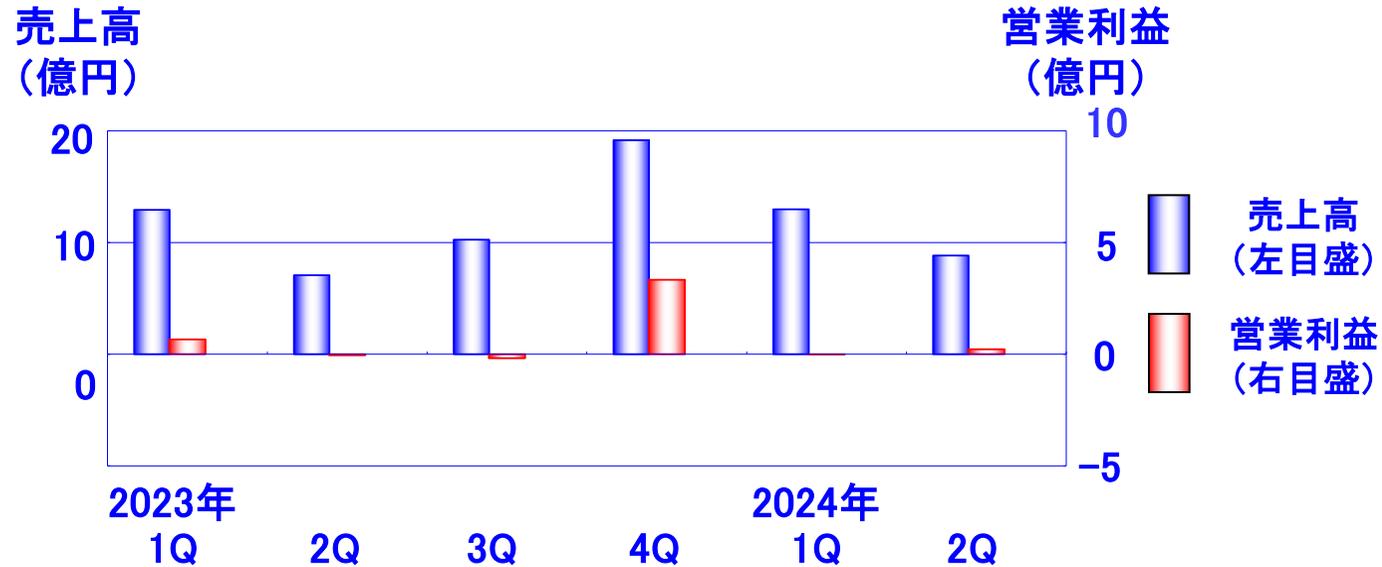
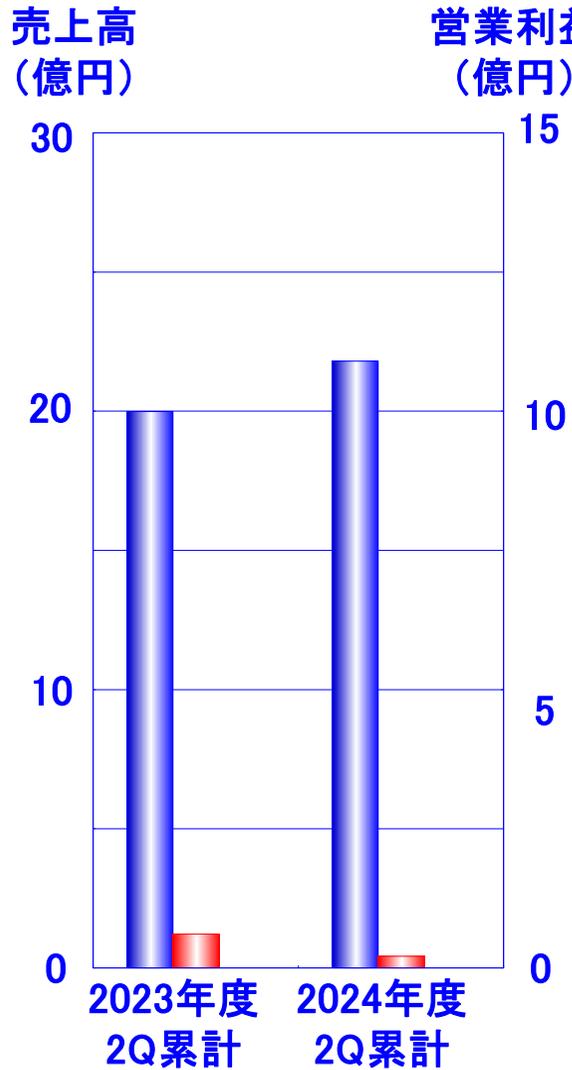


過酸化水素
及び
誘導品（※）

過酸化水素は、紙パルプ向けの販売増がみられたものの、半導体向けの需要回復が遅れており、前年同期並み。過炭酸ナトリウムにおいては、漂白剤向けで主要顧客での生産調整の影響等により、大幅な減収



※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス

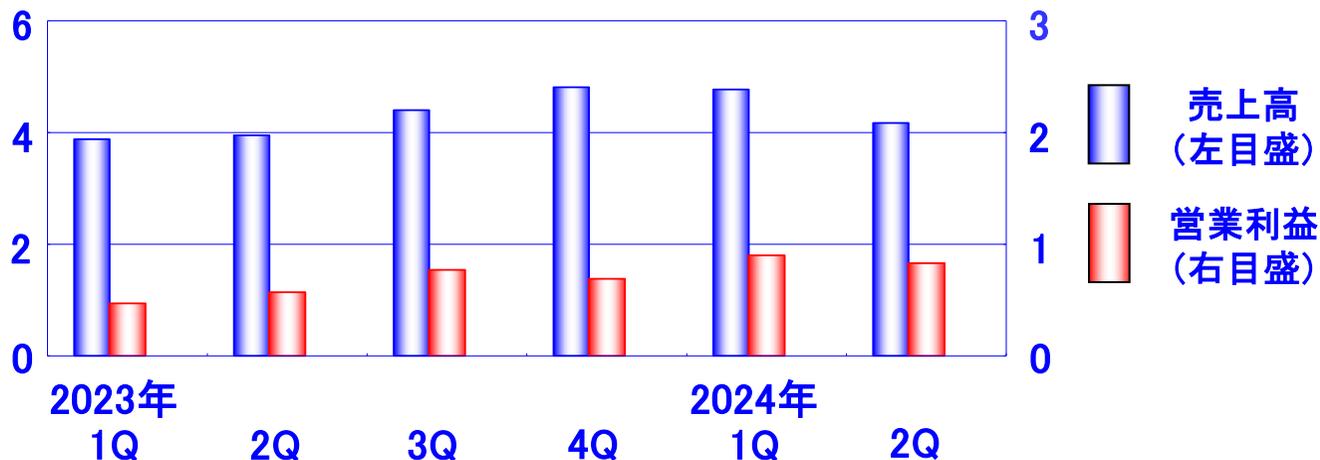
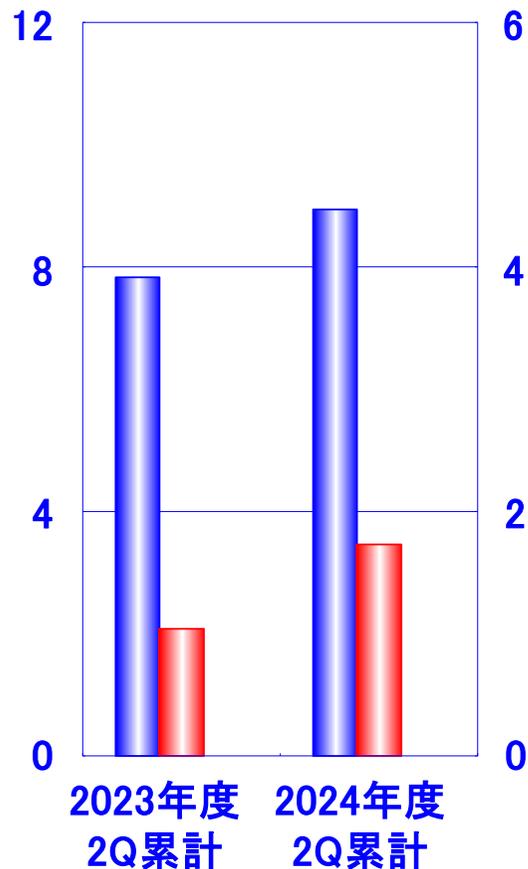
- 除草剤は、農耕地向けおよびゴルフ場向けの販売時期が前年度に前倒しとなったこと等により大幅に減少したが、鉄道用や家庭園芸向けの需要好調により増収

売上高
(億円)

営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



物 流 関 連 ・輸出等の荷動きが堅調に推移したことと、国内における危険物保管事業での取り扱い増により、増収

(単位:百万円)

科 目	前回発表予想 (5月15日時点)	今回修正予想	増減額
売 上 高	48,000	50,000	+2,000
営 業 利 益	4,500	5,500	+1,000
経 常 利 益	4,800	5,500	+700
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	2,700	3,300	+600

機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が大きく伸長し、第2四半期累計の業績が当初の想定を大きく上回ったことにより、2025年3月期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表に比べ増収増益の見込みとなりました。これらを踏まえ、2024年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を上記のとおり上方修正いたします。

当社は中期経営計画「SPEED 25/30」における「2030年度までのありたい姿の中」で、株主視点として、「長期に継続して安定した配当を実現している」を掲げており、株主還元を重要なものと捉えております。株主の皆様への還元については、業績動向・将来の事業展開・不測のリスク等を総合的に勘案し、特に、「株主資本配当率(DOE)」を意識し、安定的、継続的に、株主の皆様への適正な還元を決定しております。

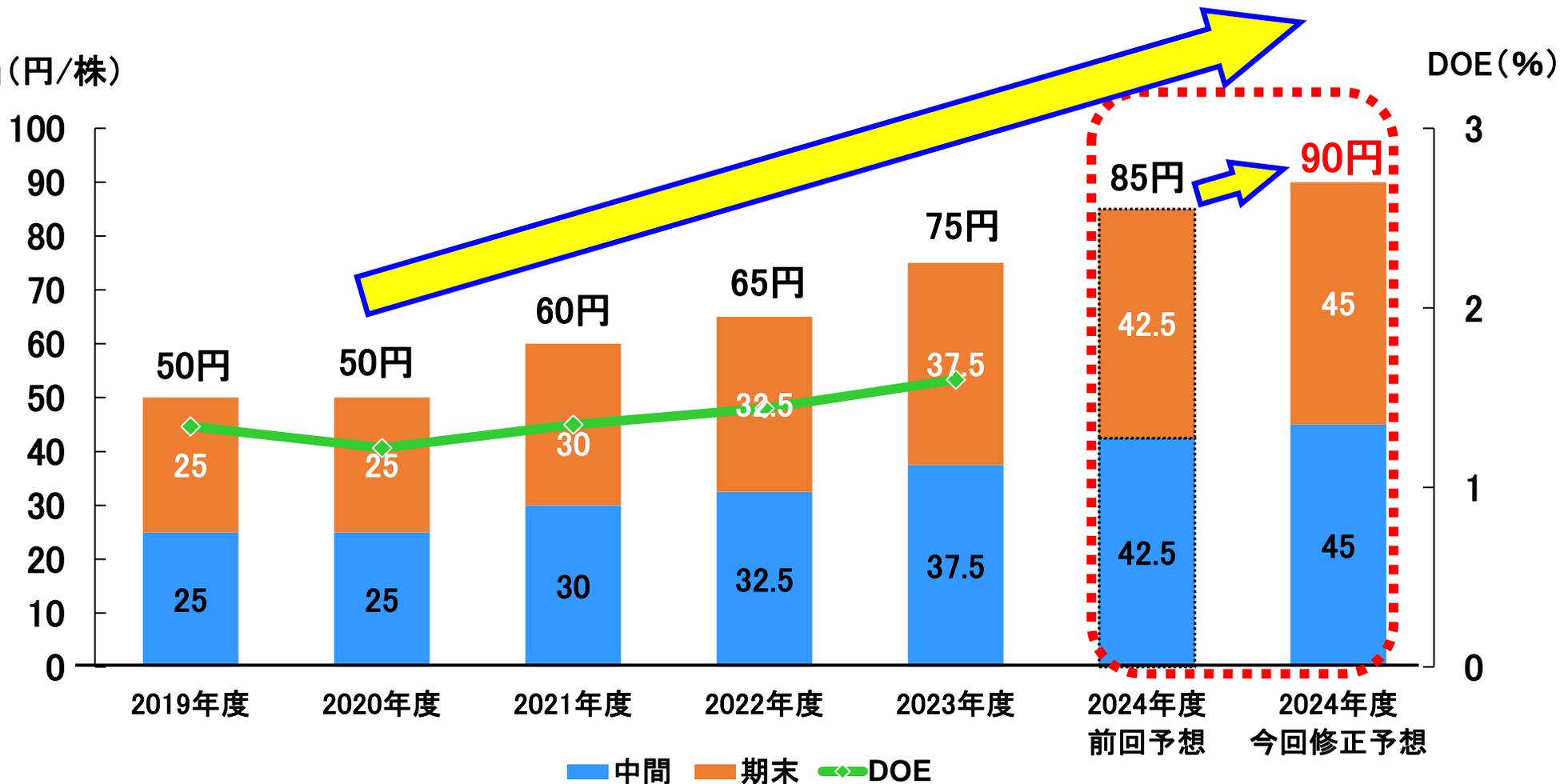
この考えのもと、足元の業績及び今後の経営環境の見通し等を踏まえ、**2025年3月期の中間配当について、直近の配当予想から1株当たり2円50銭増配の45円とし、期末配当につきましても1株当たり2円50銭増配の45円に修正いたします。**これにより中間配当を含めた**1株当たり年間配当金は90円**となる見込みです。

(単位:円/1株)

	前回予想 (2024年5月15日)	今回修正予想	増減額	参考 : 2023年度実績 (今回修正予想の増減額)
中間	42.50	45.00	+2.50	37.50 (+7.50)
期末	42.50	45.00	+2.50	37.50 (+7.50)
合計	85.00	90.00	+5.00	75.00 (+15.00)

配当の推移

配当(円/株)



以上

※本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・配当は今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。